講師用資料　00-2　演習進行シナリオ・ポイント

**演習１「個別支援計画の作成」**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 所要時間 | | 内容 | | スライドNo | 配付資料 | 進行のポイント  （全）＝全体進行　（演）＝演習進行 |
| 10:20~ | 10分 | 10分 | 演習ガイダンス | ガイダンス | 1～14 |  | * 演習の目的と内容について説明（全） * スライド「演習の内容と目的」に沿って説明する。 * 基礎研修の目的は、支援の流れと枠組みを理解することが主となる。支援の力をつけるためには実践の積み重ねと振り返り等のOJTの実施が必要であることなどを改めて伝える。 * 演習の実施方法について説明（全） * スライド「演習の実施方法」を用いて、進行方法やグループの構成、講師の役割などについて説明する。 * 演習を進めていく上での姿勢や特に意識してほしい事項について確認（全） * スライド「演習に取り組む姿勢」を用いて、演習に取り組む姿勢や重要な視点について説明する。 * 演習の全体の流れとグループの想定事業者について説明（全） * スライド「演習１『個別支援計画の作成』」を用いて演習１の予定について説明する。 * スライド「演習２『個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）及び記録方法』」を用いて演習２の予定について説明する。 * スライド５～８を用いて、実際のどのような場面を演習１及び２で想定しているのかについて説明する。   + スライド「各グループの想定」を用いて、各グループがどの事業者を想定して個別支援計画作成及びモニタリング演習を進めていくのかを説明する。（奇数グループは「共同生活援助」事業所、偶数グループは「就労継続支援B型」事業所） * 演習１の前半の流れについての説明（全）   + スライド「演習1－①『個別支援計画の作成』（前半）」を用いて説明する。   「まずは、サービス利用を希望する障害当事者について、相談支援専門員作成の事例概要及びアセスメント表もとに状況を確認します。そのうえで、サービス担当者会議に参加するに際して、事業所として、本人のことをより知るためやニーズを明確にするために、どのようなことを確認したり、意見を述べる必要があるかについて事前準備をし、サービス担当者会議に参加するまでを行います。」 |
| 10:35~ | 50分 | 15分 | 利用者概要の把握  と  サービス担当者会議への参加準備 | 事例の説明 | 15～19 | 01:事例の概要  02:アセスメントシート  03:学齢期の情報  06-1:サービス等利用計画案  ※テキストに収録 | * 事例の情報の共有（全） * スライド「演習事例の概要」、「各サービス事業者の概要」を読上げる。 * その後、受講者各自で概要とアセスメントシートを読み込む。（※事前に事例資料を受講者に配布できている場合は省略可。） * サービス担当者会議におけるサービス管理責任者等の役割について確認（全） * スライド「サービス管理責任者の業務」、「サービス担当者会議に参加する際のポイント」を読み上げて解説する。   ※サービス担当者会議は、主に相談支援専門員が企画・調整・運営するものであるが、招集され参加するサービス管理責任者等は客体として求められることのみに答えるのではなく、支援を担当する主体としてサービス担当者会議に出席することが必要である。そのためには事前準備等も行う必要があるとともに、サービス担当者会議が適切に運営されているかどうかを観察し、必要に応じて運営を補助することも必要となることについて確認する。 |
| 10:45~ | 10分 | 個人ワーク | 20,21 | 04 :サービス担当者会議事前準備シート  （A4×受講者人数分） | * ワーク内容の説明（全） * スライド「サービス担当者会議　事前準備シート」を使って記入方法について説明する * スライドを使ってワークの終了時間を示す。 * ワークの進行（演） * 記入に困っていないか、各受講者の作業状況を確認する。 * 記入方法について質問等があれば答える。 |
| 10:55~ | 25分 | グループで共有 | 22,23 | 04:サービス担当者会議事前準備シート  （A3×Gr数分） | * ワーク内容の説明（全） * スライド「グループワークを活性化させるグランドルール」を読み上げて確認する。 * スライドを使ってワークの終了時間を示す。 * ワークの進行（演） * グランドルールに注意しながら演習を進行する。 * 10分程度で自己紹介を兼ねた簡単なアイスブレイクを行う。 * 演習講師が進行役となり、進行についての手本を見せる。 * 以降のグループワークは引き続き演習講師で進行するか、グループメンバーに進行役を譲り、フォローに回るかは、グループメンバーをアセスメントし判断する。 |
| 11:20~ | 60分 | 60分 | 昼　休　み | | | | |
| 12:20~ | 50分 | 15分 | サービス担当者会議体験 | ロールプレイについての説明 | 24～28 |  | * ロールプレイを適切に行うための説明（全） * スライド「ロールプレイについて」等を使ってロールプレイの概要と、目的、注意事項について説明する * 振り返りを行うことの重要性は強調する。 * サービス担当者会議を実施するに当たり、スライドを用いて相談支援専門員（サービス等利用計画等）とサービス管理責任者等（個別支援計画）の関係性について再度確認（全） * 上から下の関係性ではなく、双方向的な関係性であることについて確認。 |
| 12:35~ | 10分 | ロールプレイ準備  （配役決め） | 29 |  | * サービス担当者会議の配役を決める。（演）   ※実際にロールプレイを行うのは２グループ（４グループ）であり、他のグループは観察者となる。準備を体験することに意味があるため、あらかじめ実施するグループを仮に決めていても公表しない。   * 相談支援専門員役は演習講師が担当する。 * 相談支援専門員役以外の配役を募る。 * 本人（水道橋久）、父親（水道橋つばさ）、A市福祉課（日比谷みずほ）、共同生活援助サビ管（川崎まさお）、世話人（豊田のぞみ）、就労Bサビ管（本田一郎）、生活支援員（鈴木さくら） |
| 12:45~ |  | 15分 |  | ロールプレイ | 30 | 05:サービス担当者会議シナリオ例  （必要に応じ配付）（A4×受講者人数分）  ☆今回はテキスト収録済み | * サービス担当者会議のロールプレイを実施する（全） * 相談支援専門員は演習講師が担当し、利用者本人の意思を尊重する * 奇数・偶数グループから各1Grの代表を選ぶ。 * 他のグループの参加者は、周りで会議の観察を行う。 * この場面では会議の内容より、会議の雰囲気を体感してもらう。 * シナリオは、最後に例示として渡す。しかし、※ロールプレイが難しい場合はシナリオを用いることもOK。 |
| 13:00~ | 10分 | 振返り  +講師コメント | 31 |  | * 振り返りを行う。（全） * 振り返りの重要性についてスライド「振り返り」を用いて説明する。 * 役割のシェアリング+観察グループからも感想もらう。 |
| 13:10~ | 10分 | | 休　　憩 | | | | |
| 13:20~ | 70分 | 10分 | 個別支援計画作成にあたり本人との面接 | サービス等利用計画の説明 | 32～40 | 06-02:サービス等利用計画  （A4×受講者人数分）  ☆今回はテキスト収録済み  07:ニーズ整理票（A4×受講者人数分） | * サービス等利用計画の内容を説明（全） * 基本的には（案）と同じであるため、サービス等利用計画の内容を資料に沿って簡単に確認する。 * 個別支援計画作成（演習）の流れを説明（全） * スライド「個別支援計画作成の流れ」を用いて説明する。 * スライド「サービス管理責任者の業務」を用いて支援のプロセス管理について説明する。 * スライド「ニーズ整理のポイント」を用いて各ポイントについて解説する。 * ニーズ整理票の項目と記入の方法について説明する。 * スライド「サービス等利用計画とニーズ整理票の関係」を用いて両者の関係を説明する。 * スライド「ニーズ整理の記入についての工夫」を用いて各ポイントについて解説。 * スライド「100文字アセスメント例」を用いて１００文字アセスメントについて紹介する。 |
| 13:30~ | 10分 |  | ニーズ整理票作成個人ワーク | 41 |  | * ニーズ整理票の個人による作成（演）   + 受講者が個別にニーズ整理票を作成する。   + スライドを使って終了時間を示す   + 各受講者の様子を確認し記入方法など必要に応じて助言する。 |
| 13:40~ | 25分 | グループ共有 | 42 | 07：ニーズ整理票（ポスターサイズ×Gr数分） | * ニーズ整理票のグループによる作成（演） * グループワークを活性化させるポイントに注意しながら演習を進行する。 * スライドを使って終了時間を示す。 * グループ状況を勘案して、進行役等を受講者に担当させ、演習講師はサポート役を担当することもあり。 * 一部の受講者に発言が偏らないこと、演習時間の管理等に配慮する。 |
| 14:05~ | 15分 | ロールプレイ | 43～45 |  | * ロールプレイの進行方法の説明（全） * スライド「利用者面接ロールプレイの方法」を用いて、実施方法を説明する。 * 3人一組になり全員が、役割の二つ以上を体験できるように実施。 * ロールプレイを実施するに当たっての注意事項を再度簡単に確認する。 * スライド「利用者への面接のポイント」を用いて解説する。 * ロールプレイの進行（演） * 本人、サービス管理責任者、観察者の配役を決める。 * 特に役作りはせず、サービス管理責任者等もしくは当事者に自分なりになりきって実施する。 |
| 14:20~ | 15分 | 振返り+講師コメント |  | 08:共同生活援助ニーズ整理表  09:就労継続支援B型ニーズ整理表 | * 振り返りを行う（演） * 各役割を演じてみて感じたことなどを各受講者から発表する。 |
| 14:35～ | 15分 | 15分 | 休憩 | | | | |
| 14:50~ | 45分 | 45分 | 個別支援計画の作成 | | 46～52 | 10:個別支援計画（ポスターサイズ×グループ数分） | * 個別支援計画の作成演習の説明（全） * グループごとに1つの計画を作成する。 * スライド「指定特定相談支援事業者（計画作成担当）及び障害児相談支援事業者と障害福祉サービス事業者の関係」を用いて、本来であれば、個別支援計画原案の作成→個別支援会議→個別支援計画の作成の流れであるが、この演習ではこれらのプロセスを統合的に実施していることについて確認する。 * スライド「計画作成のポイント」を用いて各ポイントを説明する。 * スライド「ニーズ整理票と個別支援計画のつながり」を用いて両者の関係を説明する。 * グループワークを活性化させるポイントは個別支援会議のポイントであることについて共有する。 * 参考としてスライド「個別支援会議を活性化させるスキル等」を用いてファシリテーションスキル等について紹介する。 * ワークの進行（演） * グループワークを活性化させるポイントに注意しながら演習を進行する。 * スライドを使って終了時間を示す。 * グループ状況を勘案して、進行役等を受講者に担当させ、演習講師はサポート役を担当することもあり。 |
| 15:35～ | 45分  ＋  （40分） | 30分 | 個別支援計画の発表 | 発表 | 53 |  | * 個別支援計画の発表（全） * 共同生活援助、就労継続支援B型それぞれ2グループ程度から発表してもらう。 * スライド「利用者、家族への説明のポイント」を用いて、この発表は利用者・家族への説明を想定していることと各ポイントについて説明する。 |
| 16:05~ | 15分 | 意見交換+講師コメント |  | 11共同生活援助個別計画（案）  （A４×受講者分）  12就B個別計画（案）  （A4×受講者分）  ☆今回はテキスト収録済み | * 講師コメント * それぞれの個別支援計画は本人の意向を踏まえたものだが、2つの計画を同時に実行することは可能なのか。この調整は、相談支援専門員の役割であるとともに、サビ管同士の連携も必要となる。 |

演習２「個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）および記録方法」

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 所要時間 | | 内容 | | スライドNo | 配付資料 | ポイント |
| 9:00~ | 10分 | 10分 | 演習ガイダンス | ガイダンス | 54～58 |  | * 演習の目的と内容について確認（全） * スライド「演習の内容と目的」を用いて説明する。 * 演習の流れについて確認（全） * スライド「モニタリング（演習）の流れ」を用いて、演習の流れを説明する。 * サービス担当者会議が行われる設定として、下記の趣旨を確認する。   利用者が複数サービスを利用している場合、各事業所がそれぞれのモニタリングを受けて個別支援計画を修正する前に、各事業所での支援状況と本人の様子について支援者間で共有を図るとともに、本人の意思を確認した上で、必要に応じてサービス等利用計画における支援方針の変更を関係者で共有する必要がある。 |
| 9:10~ | 90分 | 10分 | サービス担当者会議（モニタリング）ロールプレイ | 追加情報 | 59 | 14:共同生活援助中間評価  （A4×受講者数）  15:就労継続支援中間評価  （A4×受講者数  ※演習開始前に机上に配布  ☆今回はテキストに収録済み | * 個別支援計画の中間評価の提供（全） * 個別支援計画の中間評価を用いて、モニタリングを深めるために必要な情報について説明する。 |
| 9:20~ | 5分 | サービス担当者会議の実施準備 | 60、61 |  | * サービス担当者会議（演習）の実施方法説明（全） * スライド「モニタリングに係るサービス担当者会議（演習）の実施方法を用いて、ロールプレイの実施方法について説明する。 * サービス担当者会議の配役を決める（演） * 相談支援専門員役は演習講師が担当する。 * スライド「サービス担当者会議配役」を用いて相談支援専門員役以外の配役を決める。   ＜1回目＞サービス担当者会議①   * 共同生活援助グループメンバーを中心に実施する。 * 就労継続支援事業所のサービス管理責任者、支援員は対になる就労グループから参加する。 * 配役から漏れた者は、周囲で観察者となる。   ＜2回目＞サービス担当者会議②   * 就労グループ中心に実施する。 * 就労グループメンバーを中心に実施する。 * グループホームのサービス管理責任者、世話人は対になる共同生活援助グループから参加する。 * 配役から漏れた者は、周囲で観察者となる。 |
| 9:25~ | 15分 | サービス担当者会議参加準備 |  | 16：サービス担当者会議①配役  （A4×講師のみ配付⇒配役のみに伝達） | * 各配役の役作り（全） * 演習講師で分担し、配役ごとに受講者を集めて役作りについてそれぞれに説明する。   ＜各配役の設定＞   * 本人：「就労したい」と希望している。 * 父親：「まずはグループホームで力をつけて」と希望している。 * 相談支援専門員：あまりしきらず、本人の希望を聴いたうえで、それぞれのサービス管理責任者からの意見をもらう。 * 市役所職員：特に設定なし * 共同生活援助世話人：仕事よりも生活力をつけた方がよいと考えている。 * 就労支援事業所支援員：生活も大事だが、仕事をする力がついた方がよいと考えている。 * 両サビ管：特に役割設定はせず、サビ管としての役割を考えてもらう。 |
| 9:40~ | 15分 | ロールプレイ | 62 |  | ＜１回目＞　共同生活援助グループ中心に実施   * サービス担当者会議のロールプレイを実施する（演） * 相談支援専門員は演習講師が担当し、利用者本人の意思を尊重する。 * スライドを使って終了時間を示す。 |
| 9:55~ | 10分 | 振返り |  |  | * 振り返りを行う（演） * 役割のシェアリング+観察グループからも感想もらう。 |
| 10:05~ | 10分 | サービス担当者会議参加準備 |  | 17:サービス担当者会議②配役  （A4×講師のみ配付⇒配役のみに伝達）  ☆今回はテキスト収録済み | * 各配役の役作り（全） * 演習講師で分担し、配役ごとに集めて役作りについてのメモを受講者に配布し、それぞれ説明する。   ＜各配役の設定＞   * 本人：「一人暮らしの力をつけたい」と希望している。 * 父親：「早く働けるようになった方が良い」と希望している。 * 相談支援専門員：あまりしきらず、本人の希望を聴いたうえで、それぞれのサービス管理責任者からの意見をもらう。 * 市役所職員：特に設定なし * 共同生活援助世話人：仕事よりも生活力をつけた方が良いと思っている。 * 就労支援事業所支援員：生活も大事だが、仕事をする力がついた方がよいと考えている。 * 両サビ管：特に役割設定はせず、サビ管としての役割を考えてもらう。 |
| 10:15~ | 15分 | ロールプレイ | 63 |  | ＜２回目＞　就労継続支援事業所グループを中心に実施   * サービス担当者会議のロールプレイを実施する（演） * 相談支援専門員は演習講師が担当し、利用者本人の意思を尊重する。 * スライドを使って終了時間を示す。 |
| 10:30~ | 20分 | 振返り・講師コメント |  | 18:共同生活援助個別支援会議録  19:就労継続支援個別支援会議  （A4×受講者人数分） | * 振り返りを行う（演） * 役割のシェアリング+観察グループからも感想もらう。 |
| 10:50~ | 10分 | 10分 | 休　　憩 | | | | |
| 11:00~ | 40分 | 40分 | 個別支援計画修正案の作成 | | 64～66 |  | * 個別支援計画修正案の作成演習の説明（全） * 各事業所での中間評価を踏まえて、サービス担当者会議を実施した結果を受けて、本人の希望に添うように、個別支援計画の修正案を作成する旨を伝える。 * スライドを使ってグループワークの終了時間を示す。   ＜共同生活援助グループ＞  太一さんは、「今はスマイル（就B）からピアハウス（GH）に帰ってきて、疲れて何もできない日もあるけれど、早く就職活動をして仕事をしたい。体力と自信をつけたいのでステップでもいいけど、もっと就職につながるような活動もしていきたい。」と希望されている。  ＜就労継続支援グループ＞  太一さんは、「今は、就労よりも一人暮らしの力をつけたいという。もちろん、仕事の力も徐々につけていきたい」と希望されている。   * ワークの進行（演） * グループワークを活性化させるポイントに注意しながら演習を進行する。 * グループ状況を勘案して、進行役等を受講者に担当させ、演習講師はサポート役を担当することもあり。 * 一部の受講者に発言が偏らないこと、演習時間の管理等に配慮する。 |
| 11:40~ | 30分 | 30分 | 振返りまとめ |  | 67,68 | 20:就労継続支援B型事業所で行う個別支援計画の一例（変更案）  21:共同生活援助事業所で行う個別支援計画の一例（変更案）  （両方ともA4×受講者人数分） |  |